

夏の思い出

木村 蒼空

No.

よくは、川で遊んだことがあります。その時、その川ではザリガニがいるかなあと思っ
てさがしていました。ですが、見つかりませ
んでした。だけどアメンボだ。たら気持ちわ
るいぐらい이었습니다。アメンボをつかまえよ
うとしたけれどとてもすばし、こいので一ひ
きか二ひきぐらいしかつかまえることができ
ませんでした。なぜだかわからないけどアメン

No.

ボは、はしの下ににげこみました。けれど、
その川は少しふかいのではしの下に行けたの
ではしの下からおいだすことができたのでつ
かまるのが少し楽でした。

その川の所へ来てた理由は、サッカーのバ
ーベキューがあ、たからです。その時、水で
ぼうを持、てい、てサッカーの友だちにい
はいかけました。サッカーのみんなでスイ
カわりすることになりました。十回まわ、てス
タートです。コーチがぼくの番の時だけスイ



力のぎゃく方こうのちよと右でスタートした。がらみ人なとても近くで一回わまてなど言てました。さいしうてきにはサツカ一の友だちかほくのことをつかんでスイカの目の前までつれいきました。するとコーチがおい、そうこしたらつまらないじかんといいました。そして、ほくかおもいきりぼうをふりました。ですが、スイカはわれませんでした。だけどひびが入りました。ぼくより三回後にやサッカーの友だちがスイカをわりました。その後おいしく食べました。とてもいい夏の思い出になりました。

